



日本語教育現場で、学習者の対話力を どのように育てられるか？

～「対話/協働/自己啓発」に基づいたOJAEアセスメントから学ぶ～

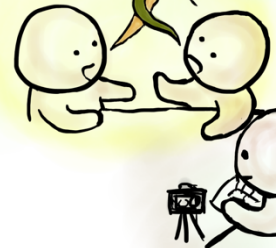


教育機関で言語教育に携わる教師はスピーキングテストを行い、何を評価しようとしているのでしょうか。学習者の「対話力」を育てていくためには、私たち授業者はどんなことができるのでしょうか。



OJAE (Oral Japanese Assessment Europe)実践研究グループの協力を得て、CEFR複言語・複文化主義に基づいた言語教育現場でどのように学習者の対話力を育成できるのか、参加者のみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

2021年2月～6月の間、計3回のオンラインセミナーを予定しています。



	実施日	テーマ (一部変更の可能性有り)	時間帯(英国時間)
第一回	2021年2月14日 (日)	OJAEアセスメント法を体感	12.00 - 14.00
第二回	2021年4月11日 (日)	「対話」って何？	12.00 - 14.00
第三回	2021年6月13日 (日)	OJAEアセスメント法に基づき実践体験	12.00 - 14.00

主に日本語教育に携わりプロジェクトのテーマに関心があるかたなら、どなたでもご参加いただけます。講座終了後も、現場での実践や悩みをお互いに話し合える場を継続していくことも目指した講座です。

1月20日ごろ、セミナー参加応募フォームと合わせて詳細をお知らせいたします。みなさんのご参加をお待ちしております。

主催：英国ヨーク大学

招待講師：OJAE実践研究グループ (代表：山田ボヒネック頼子 博士)

協力：OJAE - EIJaLE e.V. ヨーロッパ日本語教育学研究所

<https://eijale.wordpress.com/eijale/>

問い合わせ先：ベイリー芽生 megumi.bailey@york.ac.uk

助成：国際交流基金ロンドン日本文化センター

